

報告事項 1

文部科学省平成27年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の
諸問題に関する調査結果について

人権教育課

文部科学省「平成27年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」における徳島県公立学校の調査結果について

1 調査結果の概要

主な5つの調査項目（①暴力行為，②いじめの認知件数，③小・中学校における不登校，④高等学校における不登校，⑤高等学校における中途退学）について，前年度と比較すると，小・中・高等学校・特別支援学校におけるいじめ認知件数は多くなっている。これは，教職員が法の定義にのっとり，正確にいじめの認知を進めている結果と捉えている。また，暴力行為についても増加している。このことについては，いじめを積極的に認知していく上で，いじめの中にある暴力行為が計上されたことに起因すると考えている。なお，不登校児童生徒数は，全校種で減少し，中途退学者数も減少している。

2 徳島県公立学校調査結果の推移（全国合計は全国公立学校の調査結果（速報値））

① 暴力行為件数

（単位：件）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
小学校	22	27	21	45	51
中学校	289	275	275	207	282
高等学校	84	52	57	41	34
県合計(千人あたり件数)	395(4.9)	354(4.5)	353(4.6)	293(3.9)	367(4.9)
全国合計(千人あたり件数)	51,736(4.2)	51,906(4.2)	55,329(4.5)	50,927(4.2)	53,335(4.5)

注：平成25年度から高等学校通信制課程も調査対象に含めているため単純比較はできない。

◎暴力行為の内訳

「生徒間暴力」(237件[64.6%])，「対教師暴力」(73件[19.9%])，「器物損壊」(48件[13.1%])，「対人暴力」(9件[2.5%])となっている。

校種	生徒間暴力	対教師暴力	器物損壊	対人暴力	合計(件)
小学校	34 [66.7]	10 [19.6]	6 [11.8]	1 [2.0]	51
中学校	179 [63.5]	60 [21.3]	37 [13.1]	6 [2.1]	282
高等学校	24 [70.6]	3 [8.8]	5 [14.7]	2 [5.9]	34
合計(件)	237	73	48	9	367

[]内はパーセント

② いじめ認知件数

（単位：件）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
小学校	141	355	277	397	925
中学校	193	351	257	293	431
高等学校	10	26	15	28	70
特別支援学校	0	0	10	10	11
県合計(千人あたり件数)	344(4.3)	732(9.3)	559(7.2)	728(9.5)	1,437(19.0)
全国合計(千人あたり件数)	67,322(5.4)	191,004(15.4)	181,028(14.8)	182,985(15.1)	217,426(18.1)

◎いじめの態様の内訳

表のように小・中学校及び高等学校とも上位は同じ区分のものであった。

教職員が積極的にいじめを認知し，早期対応していることもあり，いじめの初期段階で発生しがちな態様が校種関係なく上位にきている。

・「いじめの態様」(9項目より複数回答)

	小学校	中学校	高等学校
①冷やかし, からかい, 悪口や脅し文句, 嫌なことを言われる	700 [75.7]	315 [73.1]	41 [58.6]
②軽くぶつかられたり, 遊ぶふりをして, 叩かれたり, 蹴られたりする	193 [20.9]	65 [15.1]	14 [20.0]
③仲間はずれ, 集団による無視をされる	152 [16.4]	60 [13.9]	12 [17.1]

[]内はパーセント

③ 小中学校不登校児童生徒数

(単位:人)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
小学校	133	92	105	125	116
中学校	599	532	533	495	431
県合計(千人あたり人数)	732(12.2)	624(10.7)	638(11.1)	620(11.0)	547(9.9)
全国合計(千人あたり人数)	114,039(11.3)	109,306(11.0)	115,784(11.8)	118,787(12.2)	121,889(12.7)

◎小・中学校における不登校の要因

「不登校の要因」は、小学校では「その他・理由がはっきりしない」(37人[31.9%]), 「無気力の傾向がある」(34人[29.3%]), 「不安の傾向がある」(29人[25.0%]), 「学校における人間関係に課題を抱えている」(15人[12.9%]) などとなっており, 中学校では「無気力の傾向がある」(120人[27.8%]), 「不安の傾向がある」(102人[23.7%]), 「学校における人間関係に課題を抱えている」(83人[19.3%]) などとなっている。

④ 高等学校不登校生徒数

(単位:人)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
徳島県(千人あたり人数)	287(14.5)	202(10.3)	118(6.1)	140(7.3)	101(5.4)
全国合計(千人あたり人数)	43,969(18.8)	45,080(19.3)	43,179(18.8)	41,555(18.2)	37,822(16.6)

◎高等学校における不登校の要因

「不登校の要因」は、「無気力の傾向がある」32人[31.7%], 「不安の傾向がある」29人[28.7%], 「学校における人間関係に課題を抱えている」17人[16.8%]などとなっている。

⑤ 高等学校中途退学者数

(単位:人)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
徳島県(出現率%)	258(1.3)	250(1.3)	252(1.3)	192(1.0)	160(0.8)
全国合計(出現率%)	37,483(1.6)	35,966(1.5)	38,602(1.6)	33,982(1.4)	31,091(1.3)

注:平成25年度から高等学校通信制課程も調査対象に含めているため単純比較はできない。

◎高等学校における中途退学の理由

中途退学の理由は、「就職を希望」42人[26.3%], 「もともと高校生活に熱意がない」33人[20.6%], 「別の高校への入学を希望」15人[9.4%]などとなっている。

3 今後の取組

今回の調査結果について個別に分析し, 課題を明らかにするとともに, 「徳島県いじめ問題等対策審議会」及び「徳島県いじめ問題等対策連絡協議会」において幅広い意見を求め, さらなる対策を検討し, 課題解決をめざす。